

基本財務諸表プロジェクト 公開草案 全般的な表示及び開示

2020年8月
経営者業績指標

The views expressed in this presentation are those of the presenter, not necessarily those of the International Accounting Standards Board or the IFRS Foundation.

整理事項

公開草案、それに付随する文書及びこのプレゼンテーションで使用するスライドは、基本財務諸表プロジェクトのウェブページ www.ifrs.org/projects/work-plan/primary-financial-statements からダウンロードできます。

本ウェブセミナーで示された見解は発表者自身の見解であり、必ずしも国際会計基準審議会（IASB）またはIFRS財団の見解ではありません。

質問する場合は、画面の指定されたテキストボックスに質問を入力し、「送信」ボタンをクリックしてください。プレゼンテーション中はいつでも質問を送信できます。プレゼンテーションの最後に、我々から回答させていただきます。

基本財務諸表プロジェクト



目的

損益計算書に含まれる情報に重点を置いて、財務諸表における情報の伝達方法を改善する。

2015

アジェンダ・コンサル
テーションで当プロジ
ェクトを優先事項とし
て認識

2016-2019

公開草案を開発
するためのIASB
審議

Q4 2019

公開草案を公表
し意見募集

Q1-Q3 2020

意見募集期間
(9月30日まで*)

Q4 2020

IASBにおける
再審議

* 新型コロナウイルスの感染拡大により、コメント期間が2020年6月から延長されている

投資家のニーズへのプロジェクト対応

投資家からの意見

IASBからの主な提案



損益計算書の小計は、異なる会社間で比較可能なものでなければならない。

- 1 損益計算書で定義された追加の小計を表示するよう会社に要求する。



会社は、より詳細な情報、投資家の分析のためにより良いインプットを提供できるように、グループ化された情報を提供すべきである。

- 2 情報を分解するための要件を強化する。



経営者が定義する業績指標は有用な情報を提供できるが、より透明性と規律性を伴う方法で使用されなければならない。

- 3 経営者業績指標に関する情報を注記に開示するよう会社に要求する

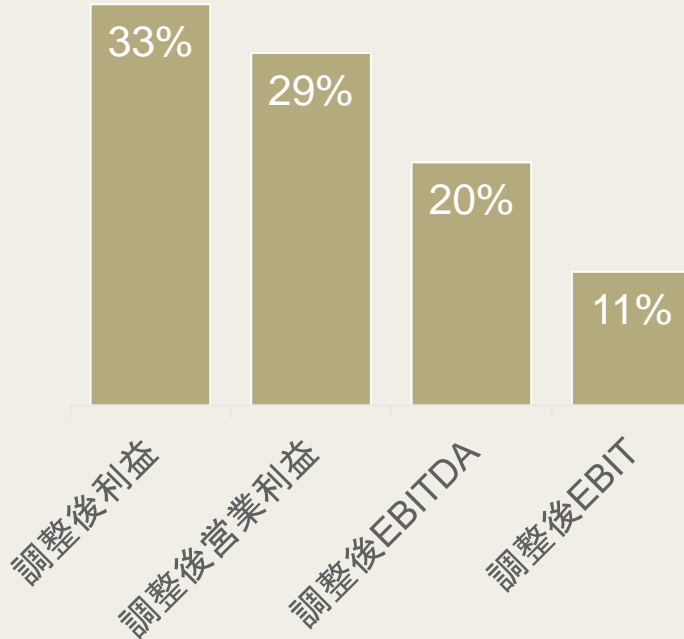
*公開草案には、キャッシュフロー計算書への的を絞った改善等、他の提案も含まれている。

經營者業績指標 (MPM)

多くの企業が、投資家とのコミュニケーションにおいて、経営者の定義による業績指標を提供している。

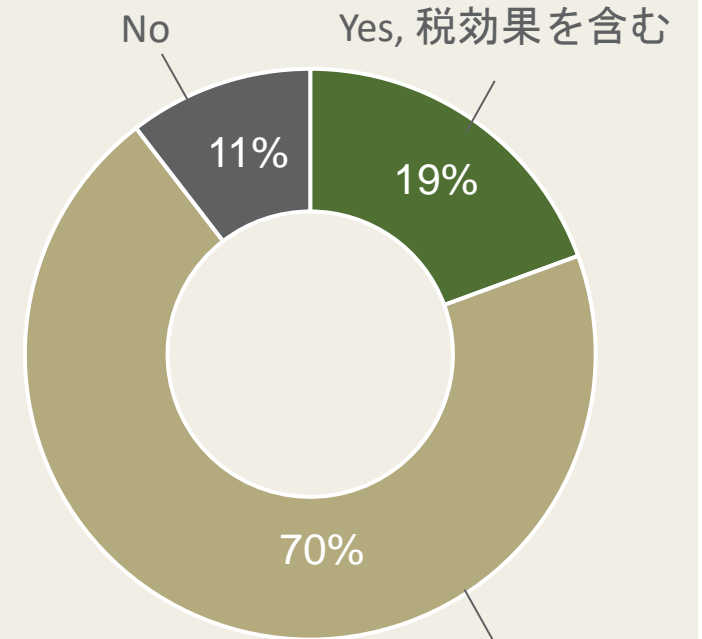
投資家は、経営者の定義による業績指標は有用な情報ではあるが、より透明で規律のある方法で使用されるべきだと言っている。

よく利用されている経営者の定義による業績指標



年次報告書で指標を使用している企業の割合 (%)

IFRS基準で定義された指標への調整が提供されてるか



Yes, 税効果の情報は限定的か含まない

すべての業績指標がMPMではない

業績指標

非財務業績指標

例示:

- 顧客数
- 顧客満足度スコア
- 売場面積

財務業績指標

収益及び費用の合計/小計

IFRS基準で定義されたもの

例示:

- 純損益
- 営業利益
- 減価償却・償却前営業利益

MPM

例示:

- 調整後純損益
- 調整後営業利益
- 調整後EBITDA

収益/費用の小計ではないその他の指標

例示:

- フリーキャッシュフロー
- ROE
- 有利子負債
- 既存店売上高

IASBは、EBITDAを定義しないことを提案している？

- IASBは、基盤となる単一の概念を特定できなかった。
- 一部の業界では使用されていない。
- 実務上の計算方法は多様。

IASBは、「減価償却及び償却前の営業利益」を定義することを提案している？

- 使用を認めるが、要求していない。
- この指標が使用される場合、MPMの開示は必要とされない。
- この指標が表す内容と「EBITDA」という略語の意味に差異があるため、IASBはこの指標を「EBITDA」として規定しなかった。

以下を満たす収益及び費用の小計の注記において開示する

一般とのコミュニケーションにおいて財務諸表の外で使用される

IFRS基準が定めている合計または小計を補完する

企業の財務業績の一側面に関する経営者の見解を示す

透明性を高めるために単一の注記として開示する

MPMと、IFRS基準で定義されている最も直接比較可能な小計または合計との**調整**

MPMは、企業の財務業績のある側面に関する**経営者の見解**を提供するが、他の企業が提供する指標と**必ずしも比較できない**ことの表明

なぜそのMPMが業績に関する経営者の見解を伝えるかの説明（以下を含む）

- **どのようにそのMPMを計算するか**
- **どのようにその指標が企業の財務業績に関して有用な情報を提供するか**

調整で開示された各項目の**税効果**及び**非支配持分**への影響、及び、企業が税効果をどのように決定したか

企業がMPMの計算方法または提供するMPMを**変更**した場合の説明

注記におけるMPM調整表の例示

調整後営業利益 (MPM)	52,870	Tax	NCI
X国における事業再編	(5,400)	900	(1,020)
収益の調整	(6,200)	1,550	-
営業利益 (IFRS基準の定義による)	41,270		



最も直接比較可能なIFRS基準で定義された小計/合計の例：

- IAS第1号81A項で要求される小計のいずれか
- 本プロジェクトで提案する3つの小計のいずれか
- 税引前利益、継続事業から生じる利益、営業総利益に類似する指標のいずれか、または、
- 減価償却・償却前営業利益



税効果を計算するための簡素化したアプローチ

現在の状況と比べた改善点

場所	経営者業績指標及び関連する開示は、財務諸表注記の単一の場所*に置かれ、一般のまたは対面のコミュニケーションにおいて分散されることはありません。
監査	財務諸表にMPMを含めることにより、当該指標が監査範囲に含まれることが期待される。
開示内容	提案されている開示要件は、既存の規定されているガイダンスと同様のものです。 但し、税金と被支配持分の影響の開示は新しいものとなるでしょう。
各国間での一貫性	経営者業績指標は、企業の管轄区に関係なく同じ要件が適用されます。

*MPM（前のスライド参照）の定義を満たさない指標は、当該提案の影響を受けません

questions
expressions of individual views
comments
questions or comments
expressions of individual views

questions
expressions of individual views
comments
questions or comments
expressions of individual views

questions
feedback
questions
feedback

comments
feedback
questions
feedback

questions
s of individual views
and viewpoints
and comments



- [公開草案](#)（日本語訳）
- [結論の根拠](#)（日本語訳）
- [設例 及び提案内容とIAS第1号の要求事項との比較](#)（日本語訳）



[スナップショット](#) [（英語）](#)



[公開草案の概要説明](#)
[日本語ウェブセミナーの録音](#) * ([YouTubeチャンネル](#)日本語以外の言語も視聴可能)



[ビデオ](#) によるハンス議長の提案解説（英語）

* 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語が視聴可能です。

Find out more: www.ifrs.org

Follow us:  @IFRSFoundation

 IFRS Foundation
International Accounting Standards Board

 IFRS Foundation

 IFRS Foundation

Join our team: go.ifrs.org/careers